



陽子の道政だより

55

2013年 初春号

発行 平出陽子後援会

発行責任者 上田 小八重

連絡先/函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎33-5080)

謹賀新年



政権交代後の

日本の未来は！

|| 原発ゼロ社会確立をめざして ||

北海道議会議員 平出陽子

新年明けましておめでとございます。

昨年の衆議選は民主党が惨敗し、過半数を大きく上回る自民党の圧勝で終わりました。北海道でも選挙区は全て自民党勝利でした。

これは自民党への評価ではなく、民主党の公約違反(消費税増税等)による厳しい国民の鉄槌です。結果を厳粛に受け止め出直すしかありません。

年末の臨時国会で安倍新内閣が誕生しましたが、選挙期間中はいまいにできてきたことが次々と方向づけされました。民主党政権がせっかく打ち出した「原発ゼロ社会」も反古にされそうです。自民政権の圧勝はこのような結果を産み出すことです。福島原発事故で、「原発との共存はあり得ない」と国民は知ったはずですので、これからも「原発ゼロ社会」確立のため運動を進めていきましょう。

年二〇兆円の公共事業を一〇年間続ける政策は、各地方自治体の負担が増えることです。現在、地方自治体財政が赤字で苦しんでいるのは、要因のひとつに以前の箱物行政のツケが重くのしかかっているからです。同じ轍を踏むのではないかと危惧しています。

このように、政権交代は地方財政の考え方も変えなければならぬので、今後の補正予算・新年度予算をチェックし道民生活重視の方向で進めていきます。

全道のお母さん達と女の先生が
子ども達の教育環境整備のために
― 道教委に要請行動実施 ―

|| 毎年母と女性教職員のつどいで話し合われたことを、道教委と意見交換しているそうです。すね。

△平出V今回で五十七回目になる全道のつどいが網走市で去年七月末に開催され、その内容を毎年十二月に道教委各課の担当の皆さんと意見交換しています。私も二〇年間同行し教育条件整備について連携し、行動しています。(下記写真)

|| 成果はどうですか。

△平出Vハード面の対策は少しずつ整備されてきていますが、教育政策などはまだ母・女の考えと隔たりがあります。例えば公立高校の配置計画、フッ化物洗口など道議会の議論になっている項目などは難しいようです。

今回は例年より多くの担当者が同席し、お母さんや先生達の実状を聞いていただきました。産休に入るまでの先生達の多忙化の実態、特別支援教育支援員の実態など具体的な報告は担当者に響いたようです。要請行動・意見交換は息長い運動です。

第3回定例会で採択された意見書

- 我が国の領土・主権の護持等に関する意見書
- 中小企業に対する金融対策の充実を求める意見書
- 消費者のための新たな訴訟制度の創設を求める意見書
- 高齢者施策を担うシルバー人材センターに関する意見書
- 北海道における今冬の電力需給に関する意見書
- 配偶者暴力(DV)被害者支援の一層の推進を求める意見書
- 配合飼料価格の高騰対策に関する意見書
- 私学助成制度に係る財政措置の充実強化に関する意見書



▲ 道教委と意見交換会 (札幌市)
～道教委と女性教職員連絡協議会要請行動～

で見る
陽子の
道政日記



▲ ひまわりの会 (女性後援会)
りんご狩り (七飯町)



▲ アンニョンフェスタ in 函館

第4回定例会で採択された意見書

- 道民の医療を守るための充実・強化を求める意見書
- 私立専修学校に関する新学校種の創出と財源措置に関する意見書
- 国内製油所の分散配置によるエネルギー安定供給体制の確立に関する意見書
- 義務教育等学習機会の充実に関する法整備を求める意見書



▲ 函館市立湯川小OB会懇親会



▲ 函館市立的場中同窓会

あしがき

新年、明けましておめでとうございます。今年も平出陽子後援会といたしまして、平出陽子の議員活動を支え、またご支援くださった方々及び市民の方々とともに、活動してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年末の衆議院選挙結果は政権交代を果たした民主党にとっては厳しいものとなり、旧政権へと後戻りする結果となりました。「危機突破内閣」と名づけた政権は、経済再生を優先することを明言し、その道を進もうとしています。しかしながら、その経済政策がかつての規制緩和政策がそうだったように、非正規雇用の拡大や所得格差につながらないよう市民がしっかりと見ていかねばならないと考えます。

特に、若者の雇用や医療・福祉、教育の問題は、経済性のみを重視した中では、すぐに成果が見えにくいものであり、長期的な政策制度に委ねなければなりません。平出陽子が目指す「誰もが安心して生活できる社会」の実現のため、まだまだ道政の場で活躍していただきたいと考えます。皆様のご意見に耳を傾け、行動できるよう後援会としても今年一年活動してまいります。